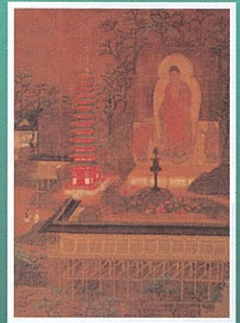
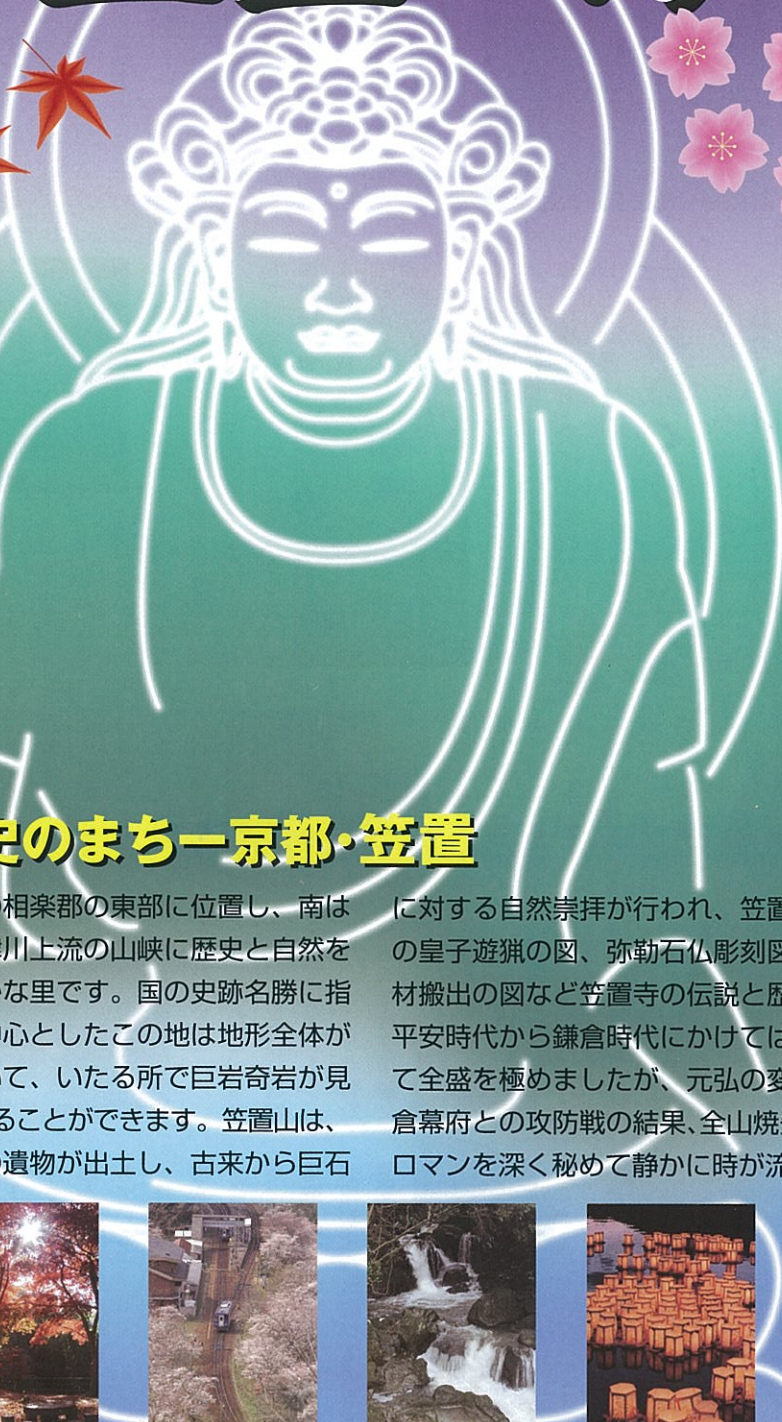


笠置へ行こう!



笠置曼陀羅図(重文)
大和文華館所蔵

山と川と歴史のまち—京都・笠置

笠置は京都府の最南端の相楽郡の東部に位置し、南は奈良市に接している木津川上流の山峡に歴史と自然を素朴にたどらせる静かな里です。国の史跡名勝に指定されている笠置山を中心としたこの地は地形全体が溪谷的な様相を呈していて、いたる所で巨岩奇岩が見られ、全身で四季を感じることができます。笠置山は、巨石の前から弥生時代の遺物が出土し、古来から巨石

に対する自然崇拝が行われ、笠置寺縁起には天智天皇の皇子遊獵の図、弥勒石仏彫刻図、南都東大寺への木材搬出の図など笠置寺の伝説と歴史を描いています。平安時代から鎌倉時代にかけては弥勒信仰の聖地として全盛を極めましたが、元弘の変では後醍醐天皇と鎌倉幕府との攻防戦の結果、全山焼失衰退し、以後歴史とロマンを深く秘めて静かに時が流れ過ぎてきました。



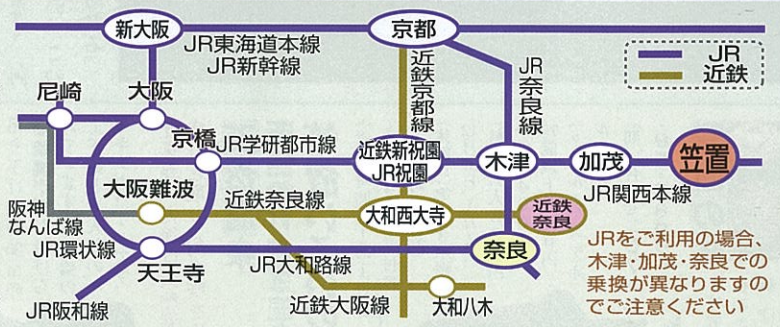
笠置へのアクセス ■電車でお越しの場合

[大阪方面から]
JRご利用の場合／(大和路線)→加茂 関西本線、笠置(約1時間20分)
(学研都市線)→木津 大和路線、加茂 関西本線、笠置(約1時間20分)
近鉄ご利用の場合／(近鉄奈良線)→近鉄奈良 大和路線、加茂 関西本線、笠置(約1時間20分)
(近鉄奈良線)→大和西大寺 近鉄京都線新祝園(JR祝園) 学研都市線、木津 大和路線、加茂 関西本線、笠置(約1時間40分)

[京都方面から]
JRご利用の場合／(JR奈良線)→木津 大和路線、加茂 関西本線、笠置(約1時間10分)
近鉄ご利用の場合／(近鉄京都線)→新祝園(JR祝園) 学研都市線、木津 大和路線、加茂 関西本線、笠置(約1時間30分)

[奈良方面から]
JRご利用の場合／(大和路線)→加茂 関西本線、笠置(約30分)
※近鉄京都線の祝園駅とJR学研都市線の祝園駅は連絡しています。

■マイカー
国道24号山城から163号で14km ●大阪から約1時間30分 ●奈良から約30分
●京都から京奈和道路山田川I.C. 経由 約1時間 ●名古屋から約3時間



JRをご利用の場合、木津・加茂・奈良での乗換が異なりますのでご注意ください

■お問い合わせは

笠置町観光協会(商工会)
〒619-1303 京都府相楽郡笠置町佃3-1
電話(0743)95-2159
http://kasagi.kyoto-fsci.or.jp

笠置町産業振興会館
〒619-1303 京都府相楽郡笠置町佃46
電話(0743)95-2880

笠置町企画観光課
〒619-1393 京都府相楽郡笠置町西通90-1
電話(0743)95-2301
http://www.town.kasagi.lg.jp

笠置探訪

笠置山は小さな山だが多くの歴史と浪漫を秘めた素敵な散策コースだ。

聖地と巨石信仰

古く二千年前から笠置山の巨石や奇石は信仰の対象でした。巨石の前からは弥生時代の有樋式石剣も発見されており、山腹にある笠置寺の本坊を北に行くと見あげられるような花崗岩の巨岩が連立する霊域です。巨石には弥勒石、薬師石、文殊石といった名が伝えられ、それらの像が彫られている



笠置寺

たというが定かではない。弥勒石は高さ15.7m、幅12.7mもある前傾した切り立つ岩で、その表面に日本最大最古の天人彫刻像と伝えられる笠置



弥勒石

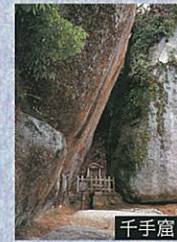
寺本尊の弥勒大磨崖仏が彫られていた。しかし元弘の変(1331年)で戦火にあい、今は巨大な石面に彫り窪められた仏像の光背の形だけを残している。現在の正月堂を北に入ると金剛界



正月堂



笠置形燈籠



千手窟

石、胎蔵界石の二つの岩の間に、東大寺良弁僧正が籠って千手の秘法を修め、また高弟の実忠和尚ががこの竜穴から弥勒の兜率天に入り、お水取りの行法を持つ

その横には、高さ12m幅7mの虚空蔵石が断崖絶壁に立っており、天衣を翻えして座る奈良時代の優美な線彫りの磨崖菩薩像が元弘の兵火にも焼かれず、彫頭当時そのままの姿を残している。文殊石の前面に建つ十三重塔は、解脱上人貞慶建立の木造木瓦葺きのあとに、鎌倉時代後期に建てられた重要文化財の石塔で薬師、釈迦、弥陀、弥勒の四方仏が彫られている。



十三重塔

行場めぐり

笠置山上は古くから行場として知られる。胎内くぐりは修行場への入口、10数mの岩のトンネルをくぐることによ



胎内くぐり

って身を清める。道を下れば、岩の窪みをたたくと音のする太鼓石があり、不思議な響きをする。視界がひらけると平等石(行動石ともいう)、岩の



太鼓石

周囲をまわって行をしたという。ここからの眺めは素晴らしい。江戸時代は月見の場所であったというのもうなずける。近くに元弘の変の時、攻撃の備えとしたゆるぎ石がある。



ゆるぎ石



蟻の戸渡り

さらに進むと、東ののぞき、一の丸跡、貝吹石を経て山頂にある石の玉垣がめぐらされた後醍醐天皇行在所跡に着く。



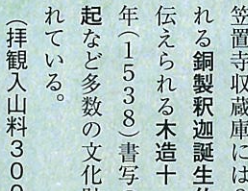
行在所跡

西ののぞき、大師堂(旧正月堂跡)をめぐって本坊に戻ると鐘楼が目につく。建久7年(1196)に東大寺俊乗坊重源上人がつくり笠置寺解脱上人貞慶に寄進



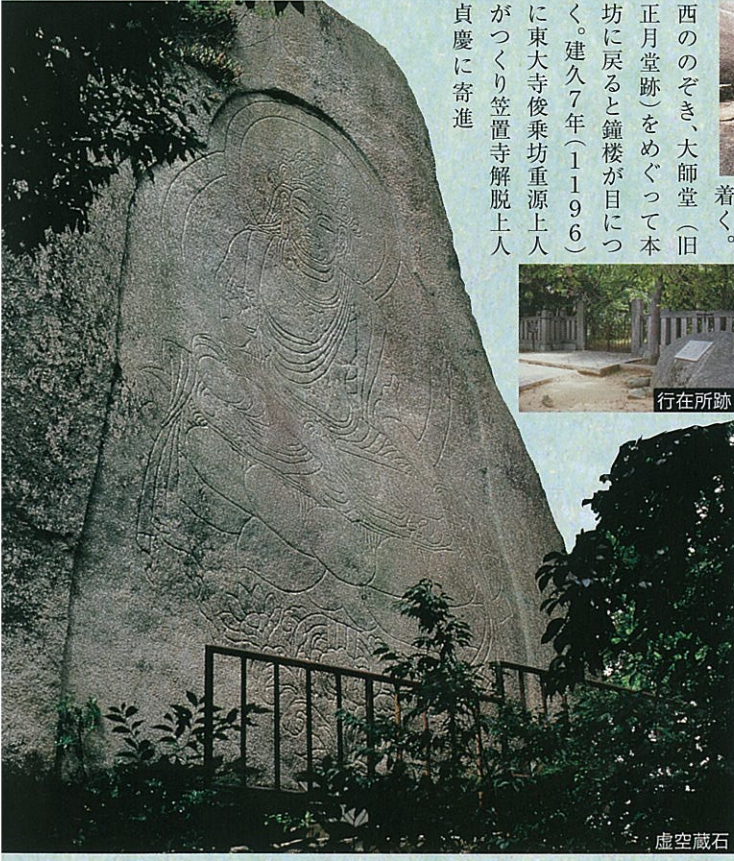
解脱鐘

したとされる解脱鐘(重要文化財)は基底部分が六つに切りこまれた珍しい意匠で、日本に一つしかない中国形式の鐘です。銘文も底縁に刻まれています。



笠置寺収蔵庫には8世紀インド伝来とされる銅製釈迦誕生仏、藤原時代の造立と伝えられる木造十一面観音立像、天文7年(1538)書写の奥書がある笠置寺縁起など多数の文化財があり一部は展示されている。(拝観入山料300円)

椿本神社には笠置寺の守護神である椿本護法善神が祀られている。山門近くの旧道に名切石があり、そばの石仏は名切り地藏と呼ばれているが地藏ではなく、阿彌陀が彫られているのも興味深い。この他笠置にはいたる所に石仏が見られる。



虚空蔵石

笠置のアウトドア



カヌースクール



ゴルフ



キャンプ



グランドゴルフ

笠置の自然



勧請縄



鬮穴群

自然がつくる不思議な形の布目川の鬮穴群(ポットホール)が近くで見られる。また、川には年の始めに悪霊の退散を願って薬で作った陰陽や農作業具の作りものを吊り下げた約30mの勸請縄が渡し掛けられています。布目橋の上下流とも人気のハイキングコースです。

天然温泉

天然わがさき温泉 笠置いこいの館

(JR笠置駅より徒歩約3分)

(営業時間)午前10時～午後9時(受付終了午後8時30分)
(休館日)第13水曜日、12月31日、1月1日
(料金)大人800円、小学生400円、70歳以上650円
(タオル・バスタオルつき)



笠置の味

笠置では、初夏の鮎、秋のキノコ、冬はきじ鍋、ぼたん鍋、かも鍋、など四季を通して美味しいものの宝庫です。

(問い合わせ)0743-9528962